

チャリティ指圧



アースキャラバンの呼びかけ人である、遠藤暁及により生まれたタオ療法。現在世界8カ国でも実践され、多くの患者さんを癒しています。人間が手技でなし得る最高の医療である指圧を体験してみませんか？

「求む！ 挑戦者！」

スタッフと対戦してあなたが勝ったら、チャトランガ1セットをプレゼント！



チャトランガ

先代の任天堂社長には、「ファミコンが出る前だったら、相当ヒットしただろう」と言わせ、また将棋のプロ養成所にいた人を、「極めて奥が深いゲーム!!」とうならせたボードゲームで遊んでみよう！



平和の火と長崎の被爆樹

福岡県星野村に保管されている広島原爆の残り火である「平和の火」と、長崎の被爆樹(被爆して生き残った樹)が同日展示されます。この機会に平和について考えてみませんか？

アースキャラバン 浜松

浜松から世界に送る平和のメッセージ

2016年9月22日(木)

10:00～17:00

浜松駅前北側 遠鉄百貨店前



Earth
Caravan
2016

主催/NPO アースキャラバン

広島原爆の残り火「平和の火」とは

原爆の残り火「平和の火」とは...
福岡県八女郡星野村の山本達雄さんは、1945年8月、原爆投下後の広島で叔父を探していた時、倉庫にくすぶる原爆の火をカイロに移して持ち帰りました。広島原爆の火は350キロメートル離れた星野村に運ばれ、23年の間、雨の日も、風の日も家族の手によって守りつづけられました。1968年8月6日全村民の要望で「平和を願う供養の火として永遠に灯し続けよう」と、村で引継ぎ「平和の塔」が建立され、現在もその塔の頂上で燃えつづけています。

裏面につづく

アースキャラバンについて

戦後70年目の節目あたる2015年夏より、

“平和は助け合いから生まれる”というメッセージを発信すべく開催が始まったのが、「アースキャラバン」という世界規模のイベントです。

初年度は、広島原爆の残り火である「平和の火」を携え広島を出発。

京都を経て東京からヨーロッパへ渡り、アウシュビッツなどヨーロッパ各地の戦災遺構にて平和への祈りを捧げました。

さらに、今なお困難な状況が続いているパレスチナ及びイスラエルに、歴史上初めて「平和の火」を届けることができました。

現地では多くの人たちと共に語り合い、歌い、踊り、平和への願いを強めて、祈りを捧げました。

世界8か国を巡礼したアースキャラバン2015は、各地でピースコンサートやイベントを行い、そのチャリティーマーケットから、シリア(1,500ユーロ/約202,500円)、ネパール(100,000円)、ガザ(1,500ドル/約180,000円)、ルワンダ(1,000ユーロ/約135,000円)へ、総額約¥617,500円の海外支援をさせていただきました。

「平和」という言葉を遠くの他人事のように感じていませんか？

**アースキャラバンはそんな「平和」と
ちょっとだけ心の距離を縮めることができるイベントです。**

ぜひ一緒に「平和」を体感してみましょう！

Information

当日は、イベント会場近くの駅北「キタラ」では、同時開催で12:00~17:00の間でバリアフリーコンサートも行われます。こちらも楽しんでご参加ください！

